

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第4区分
 【発行日】令和4年7月22日(2022.7.22)

【国際公開番号】WO2020/016757
 【公表番号】特表2021-530382(P2021-530382A)
 【公表日】令和3年11月11日(2021.11.11)
 【出願番号】特願2021-502872(P2021-502872)
 【国際特許分類】

B 3 2 B 27/30(2006.01)

10

B 2 9 C 51/10(2006.01)

B 2 9 C 51/14(2006.01)

B 3 2 B 38/00(2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/30 A

B 2 9 C 51/10

B 2 9 C 51/14

B 3 2 B 38/00

【手続補正書】

20

【提出日】令和4年7月13日(2022.7.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

剛性フィルム構造体を熱成形する方法であって、
 剛性フィルム構造体を成形型に適用することと、
 前記剛性フィルム構造体を、前記成形型に適合するまで、加熱することと、を含み、
 前記剛性フィルム構造体が、
 剛性ポリマーフィルム層、
 光調節フィルム層、及び
 遮蔽フィルム層を含み、
 前記遮蔽フィルム層が、ポリメチルメタクリレート(PMMA)を含み、
 前記遮蔽フィルム層が、前記成形型の表面に接触する、方法。

30

【請求項2】

前記剛性ポリマーフィルム層が、ポリカーボネート、アクリル、ポリエチレンテレフタレート、及びポリエチレンテレフタレートグリコールのうちの少なくとも1つを含む、請求項1に記載の方法。

40

【請求項3】

前記剛性フィルム構造体の反対側の前記成形型の側に、真空を適用する工程、を更に含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記光調節フィルム層が、ビニルフィルムである、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記光調節フィルム層が、印刷されたインク層を更に含む、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

熱成形プロセスに使用するための剛性フィルム構造体であって、

50

剛性ポリマーフィルム層、
光調節フィルム層、及び
ポリメチルメタクリレート（PMMA）を含む遮蔽フィルム層、を含み、
前記遮蔽フィルム層が、成形型の表面に接触するように構成され、前記剛性フィルム構造体は、加熱したときに前記成形型の形状に適合する、剛性フィルム構造体。

【請求項 7】

前記剛性ポリマーフィルム層が、ポリカーボネート、ポリエチレンテレフタレート、又はアクリルのうちの少なくとも 1 つを含む、請求項 6 に記載の剛性フィルム構造体。

【請求項 8】

前記光調節フィルム層が、ビニルフィルムである、請求項 6 に記載の剛性フィルム構造体

10

【請求項 9】

前記光調節フィルム層が、印刷されたインク層を更に含む、請求項 6 に記載の剛性フィルム構造体。

【請求項 10】

前記光調節フィルム層が、透光性を有する、請求項 6 に記載の剛性フィルム構造体。

20

30

40

50